

特集：市民インタビュー

自分が楽しむをモットーに 自主的な活動を

今回、青少年相談員連絡協議会の一員として、青少年育成の分野で、ご活躍されている出山裕樹さんに、どのような活動をしているのか、また活動を通して感じた楽しさや想いなどのお話を聞きました。

「青少年相談員」とは…

県知事や市長の委嘱を受けて、子どもたちの笑顔のために、地域行事への協力のほか、スポーツや野外活動を通じた体験学習イベントの企画・運営など、さまざまな活動を行っています。



富里市青少年相談員連絡協議会
第21～22期目（2022年～）

出山 裕樹 さん（38歳）

一 青少年相談員の存在

青少年相談員（以下、青少相）の活動を始めたきっかけは、ほかに担い手がおらず、前任の人にやってほしいと依頼があったことです。七栄小学校区は、概ね3年周期で順番で役割を回しています。活動を始める前は、「青少相」という存在は知っていましたが、具体的にどうしているか知らず、お祭りとかで焼きそばを作っている団体という認識でした。

青少相の活動の紹介

主な活動は、市内で行われる祭りの出店、各地区で行われる主催事業の企画・運営、ドッジボール交流会やペットボトルアート・イルミネーションツリーの点灯式の運営などです。



一 仕事からひらめきを得て、ゼロから企画した 木工ワークショップ

印象に残っている活動は、一昨年、七栄小学校区の主催事業として開催した木工ワークショップ（貯金箱作り）です。私自身がゼロから企画したのですごく大変でした。たまたま会社で、木を使ってアップサイクル（別の用途に作り替え、新たな価値を与えること）をするという動きがあり、そこで知り合った業者さんに、イベントの相談に乗ってもらいました。ワークショップで何を作るのかという検討から始まり、木材の手配や当日のスケジュール作成、業者とのやりとりなど、準備に合計2～3カ月くらいはかかり大変でしたね。

木工ワークショップでは、近隣市の木を使用したのですが、「この木はどこから来たでしょうか？」というクイズを出して、木工の要素を入れる工夫もしました。今年も七栄小学校区では、木工ワークショップを実施する予定で、木で楽器のカリンバを作ります。やすりをかけて表面をツルツルにして、組み立てて、音色の調整をして、最後はみんなで演奏会を行う予定です。また、チラシや応募フォームも自分たちで作成しています。普段やらないことだから新鮮だし、自分の経験や力にはなっていると感じます。

ほかにも、地区の協力事業として、七栄小学校の夏まつりや秋に行われた七栄親子まつりで焼きそばなどの販売、また青少相の主催事業では、ドッジボール交流会を開催しました。ドッジボール交流会は、小学生だけでなく、ボランティアとして中学生・高校生も参加してくれました。



このように工夫して準備したイベントに、子どもたちが来てくれて、楽しそうに綿あめや焼きそばを食べたり、ドッジボールをする姿を見ると、楽しいなって思います。子どもたちが楽しんでイベントに参加してくれるということが、やりがいになっています。



一 活動を通して地域との関わりが強くなった

自分が幼少期のときは、こども会でご近所の人と遊んだり、ずっと続いている七栄親子まつりにも参加してたりしました。ただ、高校生・大学生になると、地元から離れる時間が長くなり、時間もなくなるので、自然と参加しなくなっていました。段々大人になってくると、きっかけがないと地域との関わりが少なくなってしまうかもしれないですね。青少相の活動をしてからは、薄れていた地域との関わりが強くなりました。地域の人と関わる機会が増えたことで、より知っている人が増えたというか、深く知れるようになったと感じます。知り合いが増えたと、地域の防犯にもつながりますし、自分のまちが好きになることにもつながるんじゃないかなと思います。



一 自分自身が楽しんで活動を

ボランティアの団体は、自分が楽しくなさ続かないと思っています。誰かに言われたから嫌々やっている活動は、自分自身が苦痛ですし、周囲にも悪い影響が伝わってしまいます。なので、まずは自分が楽しむようにするっていうのは大事だと思っています。ボランティアの語源は、「自主的な」という意味なんです。日本では奉仕活動っていう意味が強いですが、本来の意味の「自主的な活動」を大切にしたいと思っています。ドッジボールでも自分自身が参加して一番楽しく動いているし、焼きそば作りも筋トレだと思って誰よりもたくさん作っています。

市民の皆さんにメッセージをお願いします

運営側にとって見える視点があると思います。地域の一員として、青少相でも良いし、ほかのボランティア団体でも良いし、何かやると新しい発見もあるし、新しい人脈もあるし、必ずしも大変なことがばかりではないので、ちょっとでも興味があるなら、勇気を持ってチャレンジしてほしいです。まちづくりに参画するって大事なことだと思いますし、一人ひとりが関わることによって住みよい富里、良いまちになると思います。



▲22期の青少年相談員の皆さん

一 青少相の活動をいろいろな人に広めたい

青少相の活動内容などを掲載している「青空」というチラシを作成して学校に配布していますが、それを見たところで、「やりたい!」って思う人はいないと思うんですね。やっぱり人づてに「一緒にやろう」とか、指名で「お願い」という感じで依頼しないと、入りづらい組織になってしまっていると思うので、悩ましいところではあります。

長く1人の人が担うのも良いですが、その人が引退するときに次は誰がやるんだという話になるので、新陳代謝良く若手に引き継いでいかないとだめだと思っています。青少相自体を知らない人いると思うし、知っていたとしても、何やってる人なのかわからない、どうやって参加すれば良いかわからないという人も多いと思うので、上手く紹介することができれば良いなと思います。

一 青少相の活動を長く残せるように

富里市民には、協力的な人が多いと感じました。イベントを行う際は、PTAや地域の人、いろいろなボランティア団体などが協力して、企画から準備、運営を行っています。富里市は、昔から住んでいる人が一定数いて、その人たちが積み重ねてきたつながりの中で、今の富里市があることに、改めて良いと感じました。時代の変化の中で、変えるべき点は変えるし、良い点は残す。メリハリをつけながら、今後も青少相の活動を継続していきたいです。いつか自分自身が青少相を交代したとしても、いろいろな人が経験することで、青少相自体の活動が広く地域に浸透していくと良いなと思います。



ペットボトルアート・イルミネーションツリーが 点灯しています

市青少年相談員連絡協議会と市内の小中学生が制作したペットボトルアート・イルミネーションツリーが、点灯しています。ぜひご覧ください。



■場所・点灯期間

【末廣農場】

令和8年2月1日（日）まで

【北部コミュニティセンター】

令和8年2月21日（土）まで

市青少年相談員連絡協議会の詳しい活動内容は、市公式ホームページに掲載しています。

こちらをチェック！



図 生涯学習課 ☎（92）1211